

地域再生計画評価調書（令和６年度）

■大阪市地域再生エリアマネジメント計画

●大阪駅周辺地区における数値目標及び目標達成度

評価指数（KPI）			事業 開始前	2019年度 増加分 （１年目）	目標数値、実績値及び目標数値に対する達成度							2024年度KPI達成状況及び分析	
					2020年度 増加分 （２年目）	2021年度 増加分 （３年目）	2022年度 増加分 （４年目）	2023年度 増加分 （５年目）	2024年度 増加分 （６年目）	2025年度 増加分 （７年目）	2026年度 増加分 （８年目）		KPI増加分 の累計
目標１	エリアマネジメント団体の新規法人化	目標	－	1	0	0	0	0	0	0	0	1	今年度新たに法人化されたエリアマネジメント団体はないが、すでに目標以上の団体が法人化していることから、大阪駅周辺地区においてエリアマネジメント活動が活性化されていることが伺える。
		実績	1	2	1	0	0	1	0			4	
		達成度										400%	
目標２	都市再生推進法人の新規指定	目標	－	0	0	1	0	0	0	0	0	1	今年度新たに2団体が都市再生推進法人に指定され、大阪駅周辺地区におけるエリアマネジメント活動が活性化していることが伺える。
		実績	1	0	0	1	0	0	2			3	
		達成度										300%	
目標３	歩行者通行量の増加（人）※ ¹ ※ ²	目標	－	－	15,000	5,000	800	800	800	800	800	24,000	今年度は、イベント当日の悪天候により、阪急サン広場会場の歩行者通行量に大きな影響が生じ、昨年度と比較して減少している。
		実績	－	－	▲ 34,000	13,500	14,500	1,000	▲ 4,500			▲ 9,500	
		達成度										0%	
目標４	大阪駅周辺地区における 商業施設等の売上高の増加（千円）※ ²	目標	－	－	75,000	25,000	－	－	－	－	－	100,000	令和３年度のイベントへの参加者アンケート調査の結果、大阪駅周辺地区での消費額は１人当たり平均約６,６００円であり、今年度のイベント来訪者が１８,７２１人であることから、商業施設等の売上高は約１２３,５５８千円であると見込まれ、昨年度から増加している。
		実績	－	－	64,092	29,073	4,158	25,839	839	－	－	124,001	
		達成度										124%	
目標５	大阪駅周辺における 地域来訪者等利便増進活動計画（案） に対する想定受益事業者の同意率（％）	目標	－	－	－	67	－	－	－	－	－	67	昨年度に引き続き、大阪駅周辺地区地域来訪者等利便増進活動計画における受益事業者の同意率は100%であった。今後も大阪駅周辺地区において、さらなるまちの活性化が期待される。
		実績	－	－	－	－	100	0	0			100	
		達成度										149%	

※¹：地方創生推進交付金事業開始前の通常時歩行者通行量：６３,０００人

※²：目標値及び実績値は前年度からの増加分

●評価年度において実施した事業

■事業名称	梅田あるくフェス2024
■開催期間	日程：2024年10月1日（火） ～ 10月31日（木）
■会 場	大阪梅田各所
■事業内容	○イベント内容 ・「ススメ！私のぼ活ライフ」をテーマに、「運動」、「食」、「心」などの視点から歩くことをきっかけに心や体、そして暮らしも心地よくアップデートさせる。 ①まち巡りラリー（10月１日～10月31日） スマートフォンを利用し、梅田エリア特設会場５箇所に設置されたラリーポイントを巡り、ポイントを集めるウォークラリーの開催。 ②ヘルシーラボ / 会場：ＪＲ大阪駅５Ｆ 時空の広場（10月５日） 「身体」の健康を主なテーマとして、体験ができるプログラムを展開。 ③フードマーケット / 会場：阪急サン広場（10月19日） 「食」の健康を主なテーマとして、体験・購入ができるプログラムを展開。 ④リフレッシュパーク / 会場：阪神梅田本店東側歩道（10月26日） 「心」の健康を主なテーマとして、体験やりフレッシュができるプログラムを展開。 ○調査内容 ・周辺歩道の歩行者交通量調査 事業開始前と同一箇所での各会場イベント開催日（10月５日、19日、26日の３日間）の歩行者通行量を測定。 ・来訪者アンケート調査 調査項目 梅田地区への来訪頻度、よく立ち寄る商業施設、買い物・飲食の出費額等について、梅田あるくフェス参加者を対象として実施。 調査方法 梅田あるくフェス参加者を対象とした調査 会場イベント開催当日のイベント参加者及びまち巡りラリーの参加者を対象

●評価年度における事業の結果

■イベント結果 来訪者（計測方法：各イベント会場での計測の合計）： １８,７２１人 ・イベント参加企業、団体との連携 参加・協力団体 : ２６団体（６５名） ・地域連携 大阪府健康づくり支援プラットフォーム整備事業等である、大阪府民の健康をサポートするアプリ「おおさか健活マイレージアスマイル」と連携し、アスマイルアプリ及びwebページで「梅田あるくフェス」の開催告知を行い、各会場のＩｎｆｏブースではアスマイルのチラシ設置やイベント来場者へのアスマイルポイントのプレゼントなどを行った。 ・広報連携 以下の各媒体によりイベント情報を掲載。 ・00H・サイネージ等 18箇所 ・HPでの掲載 ９社 ・SNS投稿	■調査結果 ・事業開始前と同一箇所でのイベント当日の歩行者通行量（１０時～１９時の９時間交通量） : ５３,５００人（前年度から ４,５００人の減） ・来訪者アンケート調査サンプル取得数 梅田あるくフェス参加者を対象とした調査 : ２６９サンプル	■事業分析 ・今年度は新たにまち巡りラリーポイントを１箇所追加する等、昨年度からさらにイベント内容の拡充を行ったが、天候の影響により大阪駅周辺地区におけるイベント当日の歩行者通行量が減少した。 ・一方で、JR大阪駅時空の広場会場を中心とした、魅力的なコンテンツの展開により、イベント来訪者が増加したことで商業施設等の売上高見込が昨年度から増加した。 ・歩行者通行量の増加により、イベント来訪者のさらなる増加が見込まれることから、次年度は会場特性に応じた歩行者をより引き付ける仕掛けが期待される。 ・また、昨年度からアンケート調査の収集方法を変更していることで、アンケート調査サンプル数確保に頭打ちが見られる。地域来訪者等利便増進活動計画の検証、外部への効果的な説明を行うにあたり必要なデータを得るためにも、効果的なアンケート収集方法の検討が必要である。
---	--	--

●評価年度における評価結果

- ・今回実施した際の参加者アンケート調査により、今回のような健康イベント開催が定常化したら、「イベントに参加する」「梅田に行きたい気持ちが高まる」と回答した人は全体の約９７％と昨年度に引き続き高い値となっており、事業の有用性は確認しているところである。
- ・継続的なイベントの開催等により、イベント来訪者が増加しているため、引き続き実施することで地域価値の向上が期待できる。
- ・KPIについて、今年度は都市再生推進法人の２件の新規指定等、４つの目標項目において目標値を達成しており、大阪駅周辺地区においてさらなるまちの活性化が期待できる。